

第 3 回「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する 検討会議」の開催結果について

1 要旨・目的

第 3 回「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」の開催結果について報告する。

2 現状・背景

J R 西日本から、芸備線の庄原市から新見市へかけての区域について、地域公共交通計画策定・見直しに向けた検討の場の設定を求める申入れを受け、次のとおり開催した。

- 【開催日程】第 1 回 令和 3 年 8 月 5 日
第 2 回 令和 3 年 10 月 8 日
第 3 回 令和 4 年 2 月 7 日 (今回)

3 概要

(1) 対象者

検討会議参加者：広島県，庄原市，岡山県，新見市，J R 西日本(広島支社・岡山支社)

(2) 事業内容（実施内容）

各構成員から、芸備線の増便に合わせた秋季の観光利用促進策や、地域の 2 次交通の改善による利用促進などについて発表、意見交換を実施した。

構成員	主な発表内容
JR 岡山支社・岡山県・新見市 (合同発表)	<ul style="list-style-type: none">予約型デマンドタクシーの導入，市バスの時刻変更による二次交通の改善を行い，これらの利用者は増加した新見市鉄道利用促進協議会を設立し，フォトコンテスト等の事業を実施10～12 月の土休日に臨時列車を運行（備後落合－新見間） 土休日の利用は増えたが，平日利用が増えていない
JR 広島支社	<ul style="list-style-type: none">10～12 月の土休日に臨時列車を運行（三次－備後落合間） 土休日で対前年 2.3 倍，平日でも同 1.2 倍の利用増加があった地域交通の利用は，土日祝が横ばい，平日が▲15%。生活利用が増えていないこと
広島県・庄原市 (合同発表)	<ul style="list-style-type: none">利用促進について，市職員通勤時の「芸備線利用促進デー」，JR 臨時便に対応した庄原ライナーツアー，県の補助事業（芸対協実施イベント，駅カード・情報誌作成等），民間での利用促進活動などが実施され，土日祝の駅利用者は増加したこと来年度も「沿線地域団体の活動支援」，「庄原市独自のキャッシュレスカード決済への対応」，「観光プロダクト開発」などの利用促進を継続していくこと

(3) スケジュール

次回は，令和 3 年度の利用促進の取組の振り返りを行うこととし，令和 4 年 5 月上旬に岡山県新見市で開催予定。

(4) 予算（単県）

35,000 千円 ※鉄道網を活用した地域交流の拡大等の取組に係る費用を含む

(5) 事業効果・検証結果

関係自治体が連携して利用促進策に取り組むことで，一定の成果につながる事が確認できた。

(6) 今後の対応

芸備線がより多くの方に利用されるよう，各構成員や芸備線沿線市町と連携しながら，利用促進策に取り組んでいく。